

に声を届けよう

署名提出集会

2019年4月24日（水）11:00～13:00

（開場10:30）

衆議院第一議員会館大会議室

（最寄駅：東京メトロ：国会議事堂前駅）

資料代：500円 申し込み不要

どなたでもご参加いただけます

2011年3月11日の東日本大震災に端を発した東京電力福島第一原発事故。8年以上たった今も事故はまだ続いており、私たちは長期にわたる未曾有の原発災害に直面しています。

「原発事故被害者の救済を求める全国運動」では、①原発事故避難者の実態把握に基づく支援の実施、②健診の福島県外への拡大、内容の充実、医療費の減免、子どもたちの保養のための措置、③モニタリング・ポストの継続設置、④ALPS汚染水の放出・汚染土の再利用による放射性物質の拡散への4項目について請願署名に取り組みました。このたび、署名提出集会を開催します。



司会 片山かおる

<現状報告> 11:00～12:30

原発事故被害者の救済を求める全国運動から

佐藤和良（全国運動共同代表、いわき市市議会議員）

避難者の置かれている状況

除本 理史（大阪市立大学教授）

村田 弘（「福島原発かながわ訴訟」団長／ひだんれん）

福島からの声／高まる保養の必要性

福島のお母さんから / 福島ぽかぽかプロジェクト

モニタリングポストの継続配置を求めて

人見やよい／モニタリングポストの継続設置を求める市民の会

どうなる？ ALPS汚染水の放出、除染土の拡散

満田夏花（国際環境NGO FoE Japan）

<署名提出式> 12:30～13:00

被害当事者、国会議員からの発言

主催：原発事故被害者の救済を求める全国運動実行委員会

問い合わせ：同事務局 国際環境NGO FoE Japan

TEL: 03-6909-5983（平日・日中）

E-mail: info@foejapan.org